



Press Release

AIG Japan Holdings
Kamiyacho MT Building, 3-20,
Toranomom 4-chome,
Minato-ku, Tokyo 105-0001
Japan

2017年10月11日

ロボットスーツHAL®による歩行機能向上促進プログラム 神奈川県内の脊損受傷小中高生を対象に

AIG ジャパン・ホールディングス株式会社(代表取締役社長兼 CEO ロバート・ノディン、以下「AIG ジャパン」)は、2016年11月に締結したCYBERDYNE株式会社(代表取締役社長兼 CEO 山海 嘉之、以下「サイバーダイン社」)との業務提携に基づいて、脊髄に障害を持つ神奈川県内の小学・中学・高校生50名を対象にサイバーダイン社のロボットスーツ「HAL®」を活用した歩行機能向上促進の機会を無償で提供することになりましたのでお知らせします。

今回AIG ジャパンが支援するプログラムは、「HAL®」装着者の脳から発せられる微弱な生体電位信号をセンサーが読み取り、装着者の思い通りの歩行動作を繰り返すことによって身体そのものの機能向上が促されるため、事故の後遺症などで自立歩行が困難な子どもたちに歩行機能向上への新たな機会を提供することを目的としています。

AIG ジャパンが掲げている『ACTIVE CARE』*の事業コンセプトと、神奈川県が取り組んでいる「未病の改善」と「最先端医療・最新技術の追求」という大きな2つのテーマ、加えてサイバーダイン社が子会社として運営する「湘南ロボケアセンター株式会社」(住所：神奈川県藤沢市辻堂)の立地などを鑑みて今回のプログラムでは神奈川県内の児童・生徒を対象とすることになりました。

2017年10月11日から2018年3月までを募集期間として、神奈川県内に在住もしくは小学・中学・高校に通う「外傷性脊髄損傷(不全麻痺)」に伴う下半身機能障害を負った児童・生徒(6歳から18歳)で要件を満たす方から先着50名に「HAL®」による歩行体験、動作支援プログラムを1名あたり最大10回分提供します。



* 『ACTIVE CARE』（アクティブ・ケア）について

「ACTIVE CARE」は、日本におけるAIGグループの固有かつ統一の事業戦略コンセプトです。

「ACTIVE CARE」は、次の3つの要素で構成されています。

(1) シンプルで分かりやすい

私たちが提供する商品とサービスについて、お客さまの目線に立ってシンプルに分かりやすくお伝えします。

(2) リスク情報を事前に

万一のときだけでなく、事故や損害を未然に防ぐ支援をします。

(3) AIGならではの先進性

先進的なテクノロジー、グローバルで蓄積されたノウハウ、そして国内市場に関する深い知見を活かしてイノベーションを起こし続け、お客さまにとって最も価値のある保険会社を目指します。

AIGグループは、世界の保険業界のリーダーであり、80以上の国や地域でお客さまにサービスを提供しています。1919年に創業し、現在では、損害保険、生命保険、退職給付およびその他の金融サービスを幅広く提供しています。AIGグループの商品・サービスを通じた多岐にわたるサポートは、法人および個人のお客さまの資産を守り、リスクマネジメントおよび確かなリタイアメント・セキュリティをお届けします。

持株会社 AIG, Inc.はニューヨークおよび東京の証券取引所に上場しています。

日本では、AIU損害保険株式会社、富士火災海上保険株式会社、アメリカンホーム医療・損害保険株式会社、ジェイアイ傷害火災保険株式会社、AIG富士インシュアランスサービス株式会社、テックマークジャパン株式会社などが事業を展開しています。

CYBERDYNE株式会社について

CYBERDYNE株式会社は、2004年に筑波大学発ベンチャーとして設立されて以来、サイバニクス技術(*)を活用した革新的サイバニックシステム(サイバニックデバイス、サイバニックインタフェースなど)により、社会が直面する様々な課題を解決することを目指し、研究開発から社会実装に至るまで一貫して推進しています。医療、福祉、生活(職場環境を含む)分野での事業推進を行い、主力製品のロボットスーツHAL®は、医療・福祉の分野のみならず、介護や重作業分野等にも幅広く展開されています。また、人工知能・環境認知機能を搭載した搬送ロボット・清掃ロボット、腰部負荷を低減するHAL®腰タイプ、小型の単関節HAL®、動脈硬化度・不整脈計測用バイタルセンサーなど、次々と新製品開発を進めています。

詳細については、<http://www.cyberdyne.jp/> をご参照ください。

サイバニクス技術：サイバネティクス、メカトロニクス、インフォマティクスを中心に、脳・神経科学、IT(情報技術)、ロボット工学、心理学、法学、倫理、経営などを融合複合した新しい学術領域で、筑波大学山海嘉之教授(CYBERDYNE株式会社代表取締役社長)が創成。